

世界レアメタル関連株ファンド

<3124>

追加型投信／内外／株式

満期償還 2021年5月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のレアメタル関連株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	6,490円05銭
	純資産総額	406百万円
償還期	騰落率	44.6%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0312420210528◇

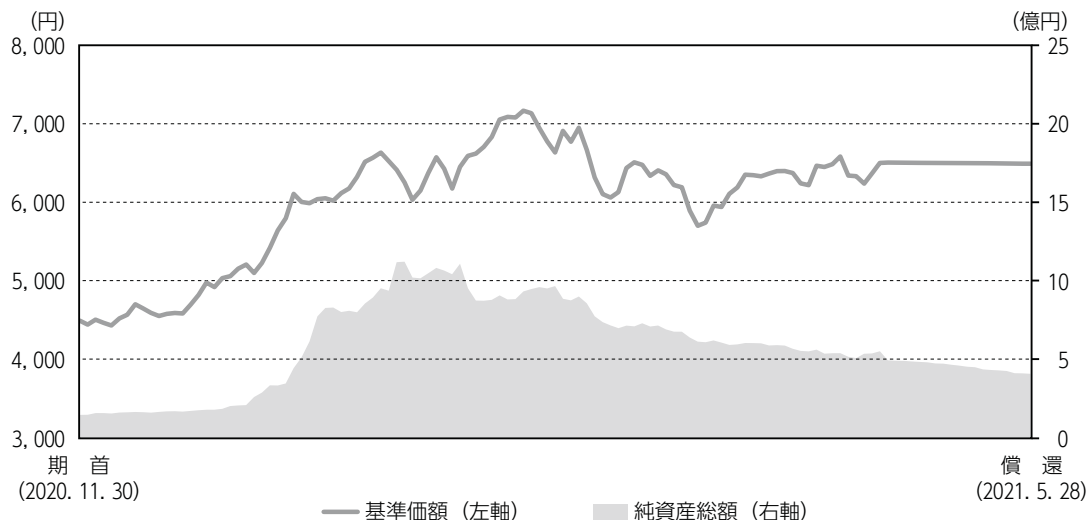
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：4,489円

償還時：6,490円05銭

騰落率：44.6%

■ 基準価額の主な変動要因

レアメタル関連株市況は、新型コロナウイルスワクチン開発の進展や世界景気の回復期待、電気自動車市場の拡大を受けたレアメタル市況の改善期待などを背景に上昇しました。為替相場では、円に対してオフショア・人民元や豪ドルが上昇（円安）しました。このような環境下で日本を含む世界のレアメタル関連株に投資した結果、基準価額は上昇しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 12. 1~2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0.787%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,077円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.377)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	60	0.983	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(60)	(0.983)	
有 価 証 券 取 引 税	9	0.150	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(9)	(0.150)	
そ の 他 費 用	16	0.259	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(0.259)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	132	2.180	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

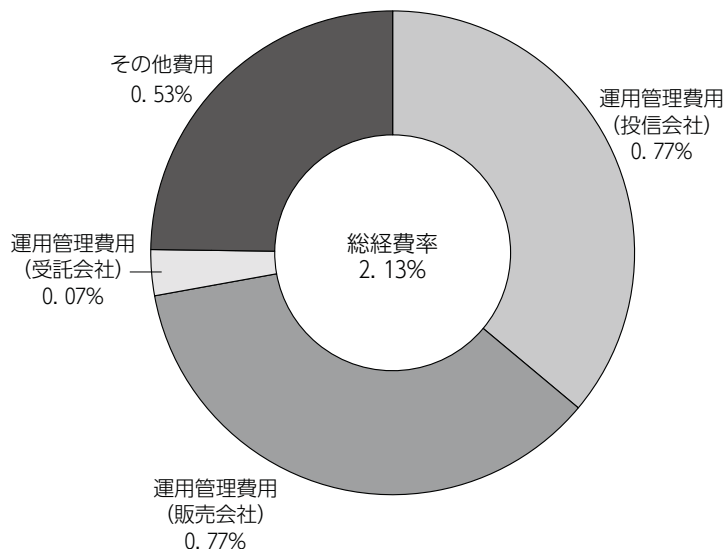
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2016年5月30日 期初	2017年5月30日 決算日	2018年5月30日 決算日	2019年5月30日 決算日	2020年6月1日 決算日	2021年5月28日 償還時
基準価額 (円)	4,420	4,970	6,324	4,279	2,967	6,490.05
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	12.4	27.2	△32.3	△30.7	118.7
純資産総額 (百万円)	117	126	220	123	87	406

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

設定以来の投資環境について

(2011. 5. 31 ~ 2021. 5. 28)

レアメタル関連株市況

レアメタル関連株市況は下落しました。

レアメタル関連株市況は、欧州債務問題や中国景気の減速懸念、F R B（米国連邦準備制度理事会）による量的金融緩和の縮小観測、レアメタル需給の悪化懸念などを背景に、設定時から2015年にかけて下落しました。2016年から2017年にかけては、米国を中心とした世界的な景気拡大や、米国トランプ政権の経済政策に対する期待、電気自動車市場の拡大などを背景とするレアメタル需要増加への期待などが支援材料となり、上昇しました。しかし2018年以降は、米中貿易摩擦の激化や世界経済の減速懸念などを受けて下落基調となりました。2020年前半には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて下落しました。その後は、各国中央銀行による大規模金融緩和やワクチン開発の進展、世界景気の回復期待、電気自動車市場の拡大などを受けたレアメタル需要の改善期待などを背景に、上昇基調となりました。

為替相場

円に対して米ドルなどが上昇（円安）した一方で、豪ドルが下落（円高）しました。

米ドルは、日銀の大規模金融緩和や米国の利上げ観測などを背景に、設定時から2015年にかけて対円で上昇しました。2016年以降は、米中貿易摩擦の激化や世界経済の減速懸念、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、米国の金融緩和などが重しとなり、対円で下落しました。

豪ドルは、日銀の大規模金融緩和などを背景に、設定時から2014年にかけて堅調に推移しました。しかし2015年から2019年にかけては、中国景気の悪化懸念や商品市況の下落、米中貿易摩擦の激化、R B A（オーストラリア準備銀行）による政策金利の引き下げなどを受けて下落基調となりました。2020年前半には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて下落しましたが、その後は、ワクチン開発の進展や世界景気の回復期待、商品市況の回復などを受けて上昇しました。

信託期間中の運用方針

日本を含む世界の株式の中から事業内容を勘案し、レアメタル関連株式を選定します。また、ポートフォリオの構築にあたっては、レアメタル市場の動向、個別企業の財務状況や成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案します。

信託期間中のポートフォリオについて

(2011.5.31 ~ 2021.5.28)

日本を含む世界のレアメタル関連株式に投資しました。個々のレアメタルの需給動向や個別企業の収益見通しに加え、財務状況やバリュエーションなどを総合的に判断し、運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

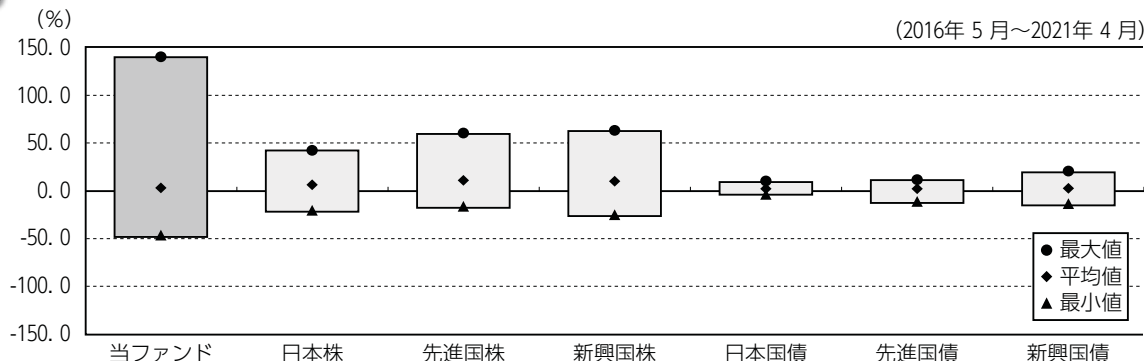


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	約10年間（2011年5月31日～2021年5月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
運用方法	<p>①主として、世界のレアメタル関連株式（※）（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※当ファンドにおいてレアメタル関連株式とは、レアメタルの鉱山開発・生産、製錬・流通、代替材料開発・リサイクル事業等に関わる企業の株式をいいます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 世界の株式の中から事業内容を勘案し、レアメタル関連株式を選定します。</p> <p>ロ. 投資候補銘柄はレアメタル関連株式の中から流動性や時価総額等を考慮して決定します。</p> <p>ハ. ポートフォリオの構築にあたっては、レアメタル市場の動向、個別企業の財務状況や成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	140.0	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
平均値	2.1	6.0	10.0	9.0	1.0	1.6	2.3
最小値	△ 48.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.1	△ 4.0	△ 12.3	△ 15.0

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみならず情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償還時
	2021年5月28日
純資産総額	406,215,732円
受益権総口数	625,905,111口
1万口当り基準価額	6,490円05銭

* 当期中における追加設定元本額は2,972,349,238円、同解約元本額は2,667,957,013円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。